

＜学校評議員さんからの評価とご意見＞

- ・低学年の子どもで遅刻しがちな児童がいると聞いているが、家庭への啓発・働きかけが必要だと思う。
- ・子どもの規範意識が育っているという説明があったが、夕方パトロールをしてみて、『富田中央公園』では、たくさんの子どもが遊んでいるが、午後5時には誰もいない。よくきまりが守れていると思う。
- ・富田小学校の子どもたちは、落ち着いて学校生活を送れているように思うが、地域の行事で「〇〇くんと遊ぶのをやめよう。」という話を聞いた。その場で注意したが、いじめという認識が十分できていない子どももいるように思う。
- ・テレビゲームや通信制ゲーム（フォートナイトやスイッチ等）で課金や見知らぬ人ともゲームをしている点で心配している。
- ・臨時休校時期であるが、子どもたちに何か問題は発生していないのか。
- ・修学旅行や宿泊学習の説明会が、授業参観時間と同じで、兄弟がいる親は授業参観ができないので、説明会の時間をずらしてくれたらありがたい。
- ・新1年生の人数が来年度は多い。富田小学校に学童があるので、富田小への入学を決めたという話も聞いた。
- ・学校評価のアンケートを児童・保護者・教職員で実施していると説明していただいたが、学習面や生活面で改めて自分を振り返ることができたり、学校目標を再認識できたりするので、とても良いことだと思う。

《全体の結果の概要》

肯定的な意見（**A**（とてもそう思う）と**B**（少しそう思う）が80%以上・・・18/22
 否定的な意見（**C**（あまりそう思わない）と**D**（全くそう思わない）が20%以上・・・3/22
E（よく分からない）が10%以上・・・1/22

※ 肯定的意見（**A・B**が80%以上を『おおむね良好』であると設定し考察を行った。

アンケート結果などからの課題	改善方策
○観点5（進んで勉強） C・D 評価 32.6%	○家庭での勉強（保護者の方に言われずとも）する習慣や学習課題や方法等について家庭への啓発をより一層継続的に行っていく必要があると考える。
○観点6（あいさつ） 肯定的評価が15ポイント 低くなった	○あいさつについては、以前より重点的教育課題として取り組んできたが、来年度は大きな声で学校外で誰にでもあいさつできるように、機会を捉え取り組むことが必要であると考えます。
○観点7（早寝早起きなどの規則正しい生活） C・D 評価 24.4%	○学年便り保健便りで基本的生活習慣の大切さを知らせたり、学年懇談や個人懇談等でも情報交換を行ったりするなど、学校と家庭とが連携を取り合って指導する取組を継続していく。
○観点14（学校（学級）の様子） C・D 評価 10.5% 観点15（わかる授業） C・D 評価 8.7%	○昨年度より肯定的な意見がわずかであるが増加しているが、各学年での学習活動のねらいや活動内容等を丁寧にホームページや学年便り等で周知していく。
○観点19（いじめのない明るい学校） C・D 評価 5.6% E 評価 11.7%	○道徳や人権教育の充実・全教職員でいじめは「絶対に許さない、見逃さない」という共通理解で取り組んできた。今後も児童の小さな変化を保護者との連携を密にし、いじめ防止に努めていく。
○観点20（特別支援教育） E 評価 8.3%	○昨年度よりE評価が約4ポイント少なくなった。徐々に保護者の方への理解が進んできているように感じる。今後も児童の実態を把握し特別支援学級だけでなく、全校児童を対象にきめ細やかな個に応じた支援の充実を図っていきたい。